

# 日本経済新聞

2018年12月9日 (日)

検索欄、記事、株価

トップ 経済・政治 ビジネス マーケット テクノロジー 国際・アジア スポーツ 社会 地域 オピニオン 文化 マネー ライフ

速報 朝刊・夕刊 日経会社情報 人事ウォッチ Myニュース

## 仏デモ1400人拘束 4週連続、厳戒態勢も混乱続く

ヨーロッパ

2018/12/8 18:35 (2018/12/9 5:33更新) [有料会員限定]

保存 共有 印刷 共有 ツイート その他

【パリ=白石透冨】フランスで8日、マクロン政権に反発するデモが各地で行われた。燃料税引き上げ方針への抗議などをきっかけに始まった週末のデモは4週連続。仏政府は全土で警官ら約9万人を動員し厳戒態勢を敷いた。一部で催涙弾や放水などで鎮圧し、少なくとも1385人を拘束した。反マクロン運動は広がりをみせ、混乱が続いている。

蛍光の黄色いベストを着る抗議運動「黄色いベスト」デモは8日朝（日本時間同日夕）から仏全土で始まった。

パリ中心部のシャンゼリゼ通りでは、参加者が「マクロン、辞任せよ！」などと叫んで政府への批判の声を上げた。配備された治安部隊にデモ参加者の一部が集団で詰め寄り、催涙弾が繰り返し打ち込まれた。



画像の拡大

8日、パリのシャンゼリゼ通りを練り歩くデモ参加者=ロイター

ゴム弾が使われ、けが人が出たとの情報もある。デモに参加した男性は「政府の改革全体に反対するために来た」と語った。

内務省の8日夜のまとめによると、全土で約12万5千人がデモに参加。危険行為を伴う「違法なデモ」を実施したなどとして当局はパリを中心に1385人を拘束した。

デモは8日夜時点で終わりつつある。放火や店舗の破壊はあったが、前回1日より小規模だったとの見方が強い。大規模な治安部隊の配置が功を奏したもようだ。

マクロン政権は5日、予定した燃料税引き上げを2019年は実施しないと決め、デモ沈静化を図った。だが抗議運動は政策全般に不満を持つ人に拡大しており、混乱収束の糸口はみえない。

### アクセスランキング

一覧 >

- 1. ファーウェイ、組織的関与か イラン制裁逃れて
2. 仏デモ1400人拘束 4週連続、厳戒態勢も混乱続く
3. 外国人受け入れ5年で最大34万人 改正入管法が成立

介護福祉 商談会 ビジネスマッチングフェア2019 参加企業大募集中!! 2018年11/20(火) 2019年1/18(金) 熱い思いをアピールし販路拡大・新規顧客開拓へとつなげるチャンスです ATCエイジレスセンター

### 日経からのお知らせ

キャリア採用、通年で募集

### 会員向け新着情報【日経コンシェルジュ】

日経ヴェリタスビューアーが1月末まで無料!

### おすすめ情報

40代から描く3つのキャリアプラン
とっておきの店で思い出深い忘年会を
86歳三浦雄一郎さん南米最高峰に挑戦
ルミネ・資生堂…優良企業 炎上の謎
車離れに挑む、BMWのブランド戦略
世界で、あなただけの家を見つけよう
接待の手土産、定番とサプライズ
公私に大活躍のふせんメモプリンター

- 転職
レストラン
Gooday
BizGate
スキルアップ
海外不動産
レストラン
未来ショッピング

[PR]

一覧はこちら

### エステ ローター

【Vol.3 日本女性の美とともに50年】幅広い年齢層の日本女性から支持を集め続ける理由



### ひらめきブックレビュー

良い本に出会いたい。ビジネスに生きる必読の8冊



### 伊藤洋一さんの注目コラム

マーケットの波乱をどう見る/調整局面にはセクターではなく企業を/金融そもそも講座

8日のルーヴル美術館やオルセー美術館など主要な観光施設は閉館。シャンゼリゼ通りなどの店舗ではショーウィンドーに被害防止の板をかぶせるなどの対応をとった。

フィリップ首相は8日午前、「(デモの) 意思表示と、破壊行為を混同してはいけない」などと語り、平和的なデモを呼びかけた。



画像の拡大

8日、パリ中心部にある百貨店、ブランタンの前では警備態勢が敷かれた=ロイター

前回1日のデモではパリで一部の参加者が投石を始めるなど暴徒化した。このため治安当局は8日に前回は上回る破壊活動や暴力行為が発生する恐れがあるとして警戒を強めデモに対処。仏全土で警官や治安部隊計8万9千人、バリケードを撤去するための装甲車を配備するなど大規模な警備態勢を敷いた。

「黄色いベスト」デモはネット上で広がった運動のため、具体的な要求は曖昧だ。きっかけは

燃料税への反対だったが、最近では大学入学制度変更などに反対する高校生や国の支援を十分受けていないとする農業関係者も運動に加わり始めた。

就任から1年半のマクロン大統領は、公務員削減、雇用・解雇がしやすくなる労働法改正、社会保障増税など歴代大統領がなかなか実現できなかった課題に相次ぎ取り組んできた。当初は評価も得ていたが、痛みを伴う構造改革への不満が次第に高まった。

労働市場改革などフランスの構造問題に正面から切り込んできた改革が停滞すれば、同国の国際競争力低下にもつながりかねないとの指摘もある。すでにデモに譲歩した燃料税引き上げの見送りで財政再建を危ぶむ声もあがっている。

保存 共有 印刷 共有 ツイート その他

関連記事

仏、燃料税上げ1年凍結 「富裕税」再導入も 大規模デモ、なぜ急拡大 「新ネット型」の指摘

2018/12/6 18:06

2018/12/4 5:43



類似している記事 (自動検索)

フランス全土で厳戒態勢 4回目 大規模デモか

2018/12/8 5:25



仏マクロン政権窮地 パリ・南仏でデモ、130人超死傷

2018/12/3 7:05



パリでデモ隊、警官隊と衝突 140人拘束

2018/12/2 0:43更新



パリで24人ケガ 燃料税引き上げ反対の大規模デモ

2018/11/26 1:38



PR 東京2020組織委員会の警備部門トップが語る「史上初導入の顔認証」とは NEC

関連キーワード

- デモンストレーション マクロン政権 パリ フランス フランス政府 オルセー美術館 ルーヴル美術館 エマニュエル・マクロン

< 電子版トップ



スポーツだけじゃない!

話がかみ合わないバラバラな組織問題。上司と部下が覆面座談会で本音激白/サイボウズ



アクセスランキング

一覧>

- 1. ファーウェイ、組織的関与か イラン制裁逃れで
2. 仏デモ1400人拘束 4週連続、厳戒態勢も混乱続く
3. 外国人受け入れ5年で最大34万人 改正入管法が成立
4. アパレルに明暗 成算なき量産の果てに
5. RIZAPIに監査法人「待った」 借金活用の利益計上
6. 個人の売り・各国規制… ビットコイン、下落止まず
7. 生活習慣病予防を手厚く ジムで運動、医療費控除
8. 日本人女性に懲役6年 中国「スパイ罪」
9. 米ウーバー上場へ 19年1~3月にも、米紙報道
10. 中国11月の対米黒字、最高更新 追加関税の影響じわり

12/9 1:00 更新

日経BP社

日経 xTECH (クロステック) 古い内蔵ディスクを交換、SSDで新年を迎える

日経クロストrend 米ミレニアル世代向けFinTechに3つの新潮流

日経ビジネス

小田嶋隆の「ア・ピース・オブ・警句」 命名責任からランナウェイしたあの駅名

磯山友幸の「政策ウラ読み」 口腔ケアで肺炎激減、医療費削減効果も

NIKKEI STYLE

WOMAN SMART ネイルも料理も朝が楽々 ボーナスで買いたい時短家電

出世ナビ ビジネス書・今週の平台 振り回されるエリート トランプ大統領の意思決定現場

ヘルスUP がん患者の声で社会を変えたい 調査や商品開発も

グルメクラブ 週末は家めしクッキング 週末レシビ 今が旬のサバのみそ煮、グラタンにも変身

大人のレストランガイド

今さら聞けない接待のマナー 当日編 いざ接待当日 店でお客様を迎えるまでにすべきこと

大人の贅沢ランチ ~ビジネスランチ、特別な集いに~ 仕事ができる人はランチ接待を上手に活用